



三芳みらい
拔井尚男
ぬくい ひさお

竹間沢東地区の環境整備について 企業誘致・留置の為に早急に整備の実施を

問 竹間沢東地区内の道路環境をどう捉えているか。
答 道路交通課長 この地区は軟弱地盤を埋め立てた造成地で道路や歩道の傷みが進んでいる状況である。
問 今後の修繕計画は。
答 道路交通課長 竹間沢東地区の埋設管の敷設替え工事計画が平成27年度から平成33年度まで計画されており、その計画に合わせて予算の範囲内で修繕工事を実施して行きたいと考えている。
問 遊水池管理について現状をどう捉えているか。
答 上下水道課長 第一調整池には約1200m²、第二調整池（公園下）には約700m²の堆積物が堆積している状態だ。
問 遊水池としての機能を十分に果たしているか。
答 上下水道課長 第一調整池は半分位機能していると思われる。



竹間沢東の調整池

問 今後の管理計画は。
答 上下水道課長 毎年予算要望してきたがかなわずにいた。平成27年度は予算承認を頂いているので、浚渫工事を行い堆積物除去が出来ると思われる。
問 三芳町名誉町民の選定方法はどうか。
答 秘書広報課長 条例にあるように、町長が推薦し町議会の同意を得て選定するものである。平成22年の時は名誉町民選考委員会を設置し町長の諮問により検討がされ答申を受けて議会に上程がされた。
問 前回の授与より5年が経過し平成27年度は町制施行45周年の記念すべき年でもあるので、町内に対象者がいるのかも含めて検討するべきなのか。
答 秘書広報課長 選考委員会は常設ではなく、町長の発議により検討され答申を得るものであり町長によって委員会が設置されるものである。



公明党
岩城桂子
いわき けいこ

残地処分の有効活用について ポケットパークやベンチの設置を！

問 都市計画道路にある藤久保6区内の残地に、ポケットパークや、お年寄りが休めるベンチを設置してはどうか。
答 財務課長 自主財源確保のため売却を進めているが、有効利用の面では理解できるので住民の意見も聞き慎重に検討したい。
住民の命を守る対策を
問 女性のがん検診の無料クーポンが配布されているが受診率が低い状態である。乳がんや増加傾向にある前立腺がんもいつでも受診できるよう集団検診から個別検診はできないか。
答 保健センター長 東入間医師会とさらに協議していきたい。
問 生活習慣病予防と受診率向上のため最近身近なコンビニを利用したコンビニ健康診断が注目を集めているが、当町でも実施してはどうか。
答 住民課長 現在、特定健診を行っているが、若い世代への効果も考えコンビニ健診も検討していく。



町内唯一のポケットパーク

戦後70年の平和事業は
問 本町の非核平和都市宣言は教育現場でどのような取り組みをしているのか。
答 学校教育課長 平和を願える授業として取り組んでいるが、更に周知し指導計画を考えていきたい。
問 8月の一定期間を平和推進月間とし、平和事業を企画してはどうか。
答 総務課長 図書館では図書コーナーで戦争と平和をテーマに展示をしているが、県の平和資料館から写真パネルなどを借用し展示会などを考えていきたい。
その他の質問
①放射能汚染対策の取り組みは
②高齢者肺炎球菌ワクチン助成の継続は
③平和教育の取り組みについて



石田 豊 旗
いしだ とよき

認知症の対応策は大丈夫か いつまでも住み続けられる三芳町に

問 65歳以上高齢者の約4人に1人が認知症やその予備軍と言われる昨今、社会の理解を深めるための活動は。

答 **健康増進課長** 認知症の普及・啓発で年に1回講演会を実施、また認知症サポーター養成講座を行い住民に理解を深めている。

問 認知症発症予防策としての啓蒙活動は。

答 **健康増進課長** 人とのコミュニケーションや体を動かすことが予防に繋がると考え高齢者を対象に、いつもこ体操を行っている。

問 認知症への対応に当たり町長の考えは。

答 **町長** 超高齢化が進む中で、認知症者も増加し如何に対応していくか、大きな政策課題となっており、一歩先んじて何らかの手を打つという強い意志と、この問題を社会全体で共有していくことが大事。国の諸策に基づき認知症への理解を深めるための普及・啓発、そして認知症の様態に応じた適時、適切な医療や介護士の提供、若年性認知症施策の強化、認知症介護者への支援等、町では追いついていない点多々ある。今後出来ることを、しっかりと遂行し、認知



症になっても自分の意志が尊重され、住み慣れた地域にいつまでも自分らしく生きられる環境をしっかりと作って行きたい。

問 新ごみ処理施設の平成28年度稼働開始の状況は。

答 **環境課長** 現行の分別・収集・運搬体制を維持しながら町民の不利益にならないよう協議を進めている。また家庭系粗大ごみの有料化については両市町の間で実施に向けて協議している。

問 路上喫煙の禁止、ごみのポイ捨て禁止などの条例化は。

答 **環境課長** (仮称)三芳町をきれいにする条例として制定に向け検討中。



日本共産党
吉村美津子
よしむら みつこ

下水道使用料の値上げはすべきでない 地域でつくる自然エネルギーの普及

問 下水道使用料の改定について、「下水道審議会」で議論されているが、値上げの諮問の理由は何か。

答 **上下水道課長** ①長い間値上げをしていない。②一般会計が厳しいので、繰入金を減らすため。

問 次回の「下水道審議会」はいつ開会するのか。

答 **上下水道課長** 4月末から5月中旬ごろと考えている。

問 一般会計からの繰入金は、3億2000万円や2億9000万円だった。平成26年度の予算では2億5100万円、平成27年度は2億2500万円と2600万円の減となっている。一般会計からの繰入金を前のように2億9000万円にすると、値上げの必要はないのでは。

答 **上下水道課長** そのように思う。

ふれあいセンターの存続を

問 ふれあいセンターの存続についての考え方は。

答 **福祉課長** 民間の施設を借りての使



自然エネルギーを利用した小風力発電設備

用を考えている。現在調整中である。

問 調整がうまくいかないときは、新施設の建設も考えるべきでは。

答 **町長** そのような場合もある。

地域でつくる自然エネルギーの普及

問 農地や平地林を生かした小風力発電の研究や薪ストーブの普及を進めるとともに、自然エネルギーを地域資源と位置づけ、市民・地域主体による普及で地域発展を図ろうとする理念に基づく条例制定をしては。

答 **政策推進室長** 農家をはじめ、地域より気運が高まれば、その中で条例制定を目指していきたい。

その他の質問

家庭ごみ出しの支援をするべきでは。



日本共産党
杉本しげ
すぎもと

国保「広域化」で国保税値上げに影響が 「エコミュージアム構想」の研究を

問 国は、国民健康保険制度を平成30年より都道府県単位にしようとしている。狙いは「保険料の値上げ」「収納率向上」「医療費適正化」だ。三芳町では今年も拠出金が交付金を上回っているが、本格的な「広域化」では同じように、県が決める「分賦金」を市町村国保から出し合う共同運営となるが保険税値上げとならないか。

答 **住民課長** 今年「財政調整交付金」が県から来ており賄える。今後は「分賦金」の計算方式が未定なので影響はわからない。

問 国からの支出金が10年前より1割以上減らされている。強力増額を求め、町も保険料軽減対策を続けるべきではないか。

答 **住民課長** 全国知事会への回答では3400億円の国の支援が約束されたとのこと。一般会計からの繰り入れは財政に要求する。

若者への家賃補助制度は

問 群馬県内の自治体では、若者の定住政策として、家賃



三富開拓地割遺跡

補助、住宅取得費補助、リフォーム助成、家具購入補助等を実施している。当町ではどうか。

答 **政策推進室長** 「地方創生」事業の中で、若者等による子育て懇談会を行う予定。ニーズを把握したい。

エコミュージアム構想

問 三芳町には「三富開拓地割」をはじめ多くの歴史文化財が点在している。特産品直売所、体験農場、アスレチック等設置し、一日中家族で自然体験できる「自然博物館」を創れるのは県内でも三芳町だけ、ぜひ研究を。

答 **政策推進室長** 以前に研究したことがあるようだ。交流人口を増やし、町の魅力を伝える点でも有効だ。



日本共産党
増田磨美
ます だます み

子育て支援策は町に合った計画を！ 町民の住みやすい町をめざして

問 食育は、人間形成に欠かせないものだが食育推進計画の進行状況の確認や評価等は。

答 **保健センター長** 第3次食育推進計画の中に掲載する。

問 給食やアレルギー対策等で問題がおきた場合には、三芳町食育推進栄養連絡会で検討されるのか。

答 **保健センター長** 情報の収集・共有・発信を含めしっかりと行っていく。

保育の充実について

問 こども子育て支援新制度により既存の保育所児童で保育時間等の変った保護者は。

答 **子ども支援課長** 大きく利用の変わった児童はいない。

問 2月1日現在の待機児童は、低年齢児が15人との事だが過去3年間の同時期の待機児童はもっと多い。なぜ今年は、減少したと考えるか。

答 **子ども支援課長** 県の方針に従って、育児休暇中の児童は、待機児童の数に加えな



保育所の子どもたち

問 育児休暇取得者は、ここ数年で倍増している。仕事に復帰するために、育児休暇を利用してはいる。しかし、これでは、町の本当の待機児童数はわからず正確な保育の必要量が出せないのではないか。

答 **子ども支援課長** 今後は町として、育児休暇取得者の数も把握していきたい。

ひと休みベンチの設置は

問 計画道路沿いで町所有の小空き地にベンチを設置し、お年寄りや皆さんに便利に使ってもらっては。

答 **財務課長** 売却を考えると、その後、地域の方と協議して考えていきたい。



公明党
小松 伸介
こまつ しんすけ

平成27年夏にプレミアム商品券の発行が決定 地方創生交付金を活用して魅力あるまちに！

問 人口減少に歯止めをかけると共に、東京圏へ人口の過度の集中を是正するため、引越奨励金や妊産婦歯科検診費助成等を実施し、地方移住の促進を図っては。

答 政策推進室長 今以上に就労対策、子育て支援、住宅支援対策等を実施していく必要がある。町の状況を鑑み、検討していく。

問 「地域おこし協力隊」等を活用して若者雇用・安住促進を行っては。

答 政策推進室長 非常に重要と認識。若者雇用創出・定着化に向け努力する。

問 プレミアム付き商品券の発行は実施されるか。

答 政策推進室長 プレミアム率30%で平成27年夏頃に発行する予定。

道路行政について

問 ESCO事業を活用し防犯灯のLED化をしては。

答 道路交通課長 事業実績がなく調査研究中。

問 二戸一灯運動の推進は。

答 自治安心課長 機会があれば区長会等で紹介し効果や課題を探っていきたい。

問 支柱のある標識等が根腐れによって転倒する事故が全国的に発生している。

る。当町も点検すべきでは。

答 道路交通課長 平成25年9月に一斉点検を実施。今後も定期的に行っていく。

問 県道の歩道に児童を守る防護柵を設置しては。

答 道路交通課長 川越県土整備事務所と協議する。

あいサポートについて

問 音声案内付き歩行者信号機やエスコートゾーンを設置しては。

答 福祉課長 重要な装置と考える。今後、信号機の設置や協議が行われる際に、担当部署と検討していく。

問 公共施設等に高さの低い自動販売機を設置しては。

答 福祉課長 検討する。



横断歩道の点字ブロック“エスコートゾーン”

つながりでつくる災害に強いまちづくり 更なる防災意識向上を目指して



三芳みらい
井田 和宏
い だ かずひろ

問 10月に行われた地域連携避難訓練の成果は。

答 自治安心課長 参加者の気づきの中から防災課題の抽出が始まったことや顔の見える関係づくりができた。

問 物資等備蓄は十分か。

答 自治安心課長 食料については確保できている。飲料水は増強を図ってきたい。

問 児童生徒と地域住民の合同避難訓練を考えては。

答 学校教育課長 関係機関と連携して検討していきたい。

問 学校での防災教育は。

答 学校教育課長 避難訓練や特別活動等の授業を通じて防災教育を行っている。

問 具体的な開かれた学校づくりの活動は。

答 学校教育課長 学校応援団等での協力をはじめ様々な場面で地域との連携を図っている。

問 地域の人（特に高齢者）との交流は。

答 学校教育課長 学校行事に招待したり、サークル活動に参加させてもらったりしている。

問 防災機能としての畑、雑木林の活用は。

答 観光産業課長 三芳の農業には多様な役割があり、都市住民との交流を持続的に行い、いざという時のために対応していきたい。

問 スマートIC周辺に町独自の防災拠点を作っては。

答 政策推進室長 (仮称)バザール賑わい公園を検討する中でそのような機能も考えていきたい。

問 災害に強い町、災害が少ない町をPRしては。

答 政策推進室長 定住人口の増加や企業誘致において重要な要素であり、特に企業誘致においては有効であると考えている。





久保健二
くほけんじ

社会資本整備を第一に考えたまちづくり！ 町内全域！不満のない公共交通の充実！

問 幹線5号線の道路拡幅・歩道整備の進捗状況は。

答 道路交通課長 今のところ計画はありませんが、交通安全対策として地権者に協力をお願いしたい。

問 三芳スマートICのフルインター化の計画が進んでいる中、幹線15号線の歩道整備の進捗状況は。

答 道路交通課長 現在、道路幅員が6メートルしかないため歩道設置は難しい。歩行者の安全対策として路面標示等の設置をしたい。

問 駅からの鶴瀬西通り線が国道までの拡幅工事が完了した際、交差点改良に伴い、国道より西側の藤久保第5区集会所前を通る幹線19号線の交通量が増えることが予想され懸念しているが、計画はどうなっているか。

答 道路交通課長 国道254号から30メートルは滞留場所として幅員6.4メートルで拡幅整備する。その先の事業計画は今のところないが、将来的にはご指摘のように全町を考えた計画が必要と感じている。

答 都市計画課長 鶴瀬駅西通り線の全線完成により、ご指摘の通り交通量も増えると予想されるため、国道から幹線5号線まで道



幹線5号線の狭い区間



幹線19号線の狭い区間

路整備を行うべきと感じている。

問 以前から要望している藤久保小付近の信号が未だに設置される目途がたっていないのが現状だが、危険個所回避のため、信号が付く迄の間だけでも通学路の変更等を考えるべきではないか。

答 学校教育課長 学校側と協議し対応したい。

デマンド交通について

問 3か月の試行運転を終えて、利用者・非利用者のアンケート調査後、本格運行に向けての改善点は。

答 政策秘書室長 利用口、利用時間、共通乗降場、費用対効果について改善する。

議会活動日誌

2月

- 3日 議会運営委員会
- 5日 平成27年入間東部地区消防組合議会第1回臨時会
- 6日 厚生文教常任委員会所管事務調査
厚生文教常任委員会
- 10日 埼玉県町村長・町村議会正副議長合同研修会
- 13日 入間郡町村議会議長会
三芳町議員定数適正化検討特別委員会
- 17日 全員協議会
- 18日 議会運営委員会
- 19日 総務常任委員会
- 25日～3月23日 第2回定例会
- 25日 総務常任委員会
- 26日 埼玉県町村議会議長会平成26年度定期総会

- 9日 三芳町議員定数適正化検討特別委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日・13日・15日～18日 予算特別委員会
(15日は休日議会)
- 18日 議会改革推進特別委員会
- 19日 入間東部地区消防組合議会議会運営委員会
入間東部地区衛生組合議会議会運営委員会
議会広報広聴常任委員会
- 20日 全員協議会
議会運営委員会
- 23日 議会運営委員会
- 25日 入間東部地区消防組合議会第1回定例会
入間東部地区衛生組合議会第1回定例会
- 31日 議会広報広聴常任委員会

3月

- 3日 議会運営委員会
- 6日 全員協議会
総務常任委員会

4月

- 6日 埼玉県町村議会議長会正副会長会
埼玉県町村議会議長会役員会
- 8日 議会広報広聴常任委員会